

動物の診察室から

から

○ 47 ○

1月の金曜日、「乳び胸」の手術をしてほしいと電話がありました。乳び胸」とは、胸のリンパ管から脂肪を含むリンパ液が漏れ出て、牛乳のような白い液体が、胸腔内に溜まってしまいう病気で、

2日前に胸の中の液体を抜いてもらったのですが、手術が必要とのことで、月曜日の夕方から院したいと言われました。

2日前に胸の中の液体を抜いてもらったのですが、手術が必要とのことで、月曜日の夕方から院したいと言われました。

深刻な容体家族に説明

手術まで (上)

乳び胸は胸に液体が溜まるため、何もしないと呼吸が苦しくなり、死んでしまう病気で、治療もその動物の状態により対応する方法が違ってきます。そして検査が必要なため、夕方からですと十分な時間が取れませんので、前日に来ていただき、月曜日の朝から検査の予定を入れ直しました。

当然全身麻酔が必要で、クウちゃんの状態は大変悪いこと、手術をしても回復しない場合もあることを、ご家族にお話ししました。

その日は、手術に対応するだけの時間的余裕がありませんでしたので、胸の水を抜くだけにし、そして、翌日の午前中から小梅ちゃんの血液を輸血して、午後からの予定はすべて空けて、クウちゃんの手術を行うことになりました。

乳び胸は胸に液体が溜まるため、何もしないと呼吸が苦しくなり、死んでしまう病気で、治療もその動物の状態により対応する方法が違ってきます。そして検査が必要なため、夕方からですと十分な時間が取れませんので、前日に来ていただき、月曜日の朝から検査の予定を入れ直しました。

当然全身麻酔が必要で、クウちゃんの状態は大変悪いこと、手術をしても回復しない場合もあることを、ご家族にお話ししました。

その日は、手術に対応するだけの時間的余裕がありませんでしたので、胸の水を抜くだけにし、そして、翌日の午前中から小梅ちゃんの血液を輸血して、午後からの予定はすべて空けて、クウちゃんの手術を行うことになりました。

乳び胸は胸に液体が溜まるため、何もしないと呼吸が苦しくなり、死んでしまう病気で、治療もその動物の状態により対応する方法が違ってきます。そして検査が必要なため、夕方からですと十分な時間が取れませんので、前日に来ていただき、月曜日の朝から検査の予定を入れ直しました。

当然全身麻酔が必要で、クウちゃんの状態は大変悪いこと、手術をしても回復しない場合もあることを、ご家族にお話ししました。

その日は、手術に対応するだけの時間的余裕がありませんでしたので、胸の水を抜くだけにし、そして、翌日の午前中から小梅ちゃんの血液を輸血して、午後からの予定はすべて空けて、クウちゃんの手術を行うことになりました。



クウちゃんのため献血をする小梅ちゃん

